



6年生 ボランティア活動 継続 後姿が全校生の手本に!

1学期の学校便り第25号で、6年生のボランティアの様子をお伝えしましたが、2学期になり10月に入ってからボランティア活動が継続しています。朝、昇降口に立って挨拶をしていますが、掃き掃除をしようとする、「校長先生、私がします。」と、箒をさりげなく取り、土がたくさん入ってくる昇降口をこまめに掃いてくれています。その後も掃き掃除をする6年生が自然と増えて、きれいな気持ちの良い昇降口で子どもたちを迎えることができます。また、今日は多くの6年生が挨拶運動に参加し、笑顔いっぱいの昇降口となりました。



この6年生の姿は、これまでJRC活動で培った「気づき考え実行する」ことが身につき、実践につながっているものであり、5ヵ月後に卒業を控え学校のために全校生のために何ができるか自分で考え行動しようとする姿、さらには、みんなのために**自分が良いと思ったことを素直に実行し表現することができるという心の成長の証**であると思います。

6年生の心の成長を頼もしく感じるとともに、一小の伝統がしっかりと子どもたちを育てていることを嬉しく思います。6年生の後姿は後輩たちも見ています。上級生がさらなる伝統を創り、学校の校風として引き継がれていくことを期待しています。

・・・新しい先生を紹介します・・・
県教委サポートティーチャー派遣事業を活用
こばやし こうこ
小林 耕子 先生 です。



10月から理科の実験等で補助に入ってください先生として本校に勤務いただくことになりました。音楽や運動も得意な先生です。1月31日までの短期間、毎日ではありませんが一緒に勉強したり遊んだりしていただきます。どうぞよろしくお願ひします。